

# 2019（令和元）年度学校自己評価報告書

2020（令和2）年4月

学校法人AOI国際学院

AOI国際福祉専門学校

## 1 建学の精神

本校は、葵会グループの精神である「治す」と「防ぐ」を高いレベルで両立し健康な人生をトータルにケアしていく「福祉のこころ」を介護現場で実践できる人材の養成に努める。

## 2 教育方針

### (1) 入学受け入れ方針（アドミッションポリシー）

本校は、支援・介護の専門化を目指す国内外の学生を対象に、2年間の教育課程で介護福祉士国家資格の取得を目指します。わが国の高齢化社会でお年寄りや障害を持つ方は、“安心の介護”を求めています。本学では思いやりと感性が豊かな介護福祉士を目指し、広く福祉の現場で活躍する人間性豊かな学生を求めています。

### (2) 教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）

本校介護福祉学科のカリキュラムは、「介護」「人間と社会」「こころとからだのしくみ」の領域が介護の理論的裏づけによる構成になっています。介護の実務は、人に関わる実践的な学問です。学内で学んだ知識や技術と学外で学ぶ実習が統合されるよう進めます。その中でも特に適切な介護サービスの能力を養う「介護過程」では、その理解にあたり「アセスメント・計画の立案・実施・評価」といった知識と技術の統合を段階的に進めて行きます。その他、留学生の介護能力を高めるため「介護の日本語」「ビジネス日本語」や「手話」など本学独自の科目も開設しています。

### (3) 専門士（教育・社会福祉専門課程）授与の方針（ディプロマポリシー）

介護福祉学科では教育・社会福祉専門課程の所定の課程を修了し、次の要件を全て満たす学生について専門士証書を授与します。

- ①本校介護福祉学科に2年以上在学し、定められた科目を履修した者
- ②学期末に実施される定期試験で、各科目（介護実習を含む）とも基準点に達している者
- ③専門士（教育・社会福祉専門課程）にふさわしい人格見識と健全な精神を有していることが学科会議で判定された者
- ④定められた学費及び諸経費を納めた者

## 令和元年度 学校自己評価について

本校は、2016（平成28）年度に開校し、2017（平成29）年度から介護福祉士養成施設の認可を受け介護福祉士の養成を行っております。2019（平成31）年3月に第1期生を送り出し、2020（令和2）年3月に第2期生を送り出しました。しかし、開校以来4年を経過しやっと5年目を迎える発展途上の学校であり、入学定員の確保、財政的基盤整備等取り組むべき課題は多くあります。そのような中、建学の精神である {「治す」と「防ぐ」を高いレベルで両立し健康な人生をトータルにケアしていく「福祉のこころ」を介護現場で実践できる人材の養成} を基本理念とし、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考として令和元年度学校評価を実施し、現状を把握すると共に問題点を洗い出し改善に向けて教職員一丸となって取組み、社会から必要とされる人材の養成に取り組んでまいります。

3. 対象期間 2019（平成31年）4月1日～令和2年3月31日

### 4. 実施方法

1. 専修学校における学校評価ガイドラインを参考に実施
2. 年度末終了後に評価を実施
3. 評価結果はホームページに掲載

### 5. 自己点検評価項目

以下の11項目について実施

- ◇基準1 : 教育理念・目的・人材育成像
- ◇基準2 : 学校運営
- ◇基準3 : 教育活動
- ◇基準4 : 学修成果
- ◇基準5 : 学生支援

- ◇基準6 : 教育環境
- ◇基準7 : 学生の受け入れ募集
- ◇基準8 : 財務
- ◇基準9 : 法令等の遵守
- ◇基準10 : 社会貢献・地域貢献
- ◇基準11 : 国際交流

### 6. 評価項目に対する評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目		2019年度評価	達成状況	課題点	今後の取組み
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3	学生ハンドブックに示すと共に、入学直後のオリエンテーションで説明している	特になし	定期的な見直しを行うと共に、継続して周知する努力を行う
1-2	学校における職業教育の特色は何か明確になっているか	3	本校は介護福祉士養成施設であり、教育および卒業後の目的も明確である	特になし	定期的な見直しを行うと共に、継続して周知する努力を行う
1-3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	現代社会のニーズに合致した教育分野であり、今後益々必要となる分野である	特になし	定期的な見直しを行い、社会のニーズを踏まえた将来構想を策定する
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	3	学生ハンドブックに示すと共に、入学直後のオリエンテーションで説明している	特になし	わかりやすい表現等を取り入れ、学生への周知に注力する
1-5	学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	現代の介護に必要なカリキュラムを策定し教育を行っている	特になし	業界のニーズを捉え、カリキュラムや人材育成方法を検証する

評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目		2019年度評価	達成状況	課題点	今後の取組み
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	目的に沿った運営方針は示されている	事業計画との連携がとれていない	事業計画と連携をとる
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	事業計画の策定は行われている	事業計画に沿った運営に遅れがある	運営方法の検討
2-3	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2	明確な規定の整備に至っていない	規定が未整備	規定の整備
2-4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	2	明確な規定の整備に至っていない	規定が未整備	規定の整備
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	明確な規定の整備に至っていない	組織は整備されているが、意思決定システムが未整備である	意思決定システムの整備
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2	体制の整備に至っていない	体制が未整備	コンプライアンス体制の整備
2-7	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	2	ホームページでの公開に着手したところである	開示情報が少ない	開示情報の拡充
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	データの一元管理や予定表の共有化を推進した	教育及び学生に関するデータの整備が遅れている	学籍管理システムを導入し教育及び学生に関するデータ整備を進める

評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目		2019年度評価	達成状況	課題点	今後の取組み
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	「社会福祉士及び介護福祉士法」の規定に基づき教育課程の編成、実施方針等が策定されている	特になし	「社会福祉士及び介護福祉士法」の規定に基づいて策定していく
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえ、教員が中心となり、教育到達レベル、学習時間の確保を明確にしている	特になし	教育の到達目標については個人差がある 個人指導にも取り組んでいく
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2	カリキュラムの作成は体系的に行っている	特になし	カリキュラムの作成、見直し等の検証を行っていく
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	授業時間以外、外部行事への参加等を行っている	特になし	外部行事への参加には今後も取り組んでいく
3-5	介護福祉分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	カリキュラムの作成、見直しは科目によって行っている	特になし	カリキュラムの作成、見直しにより充実した教育を構築していく
3-6	介護福祉分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	2	インターンシップ制度は取り入れていない	特になし	教員体制の整備も考えていく
3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	2	体制の整備に至っていない	余剰人員がなく、体制整備が困難	自己評価・内部評価の体制を整備を図る

3-8	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	介護実習の評価を年2回取り入れている	特になし	外部関係者の評価を取り入れて授業評価を図っていく
3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	学則及び学生ハンドブックに規定及び明示している	特になし	各基準を遵守し正確な運用を引き続き行う
3-10	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	国家試験対策を取り入れている	特になし	外部講師等の活用を検討
3-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	介護施設経験のある教員を確保し、実体験を通じた人材の育成を行っている	特になし	社会のニーズを捉え必要な人材の育成に努める
3-12	介護福祉分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	2	特別な対応は行われていない	教員採用は常にあるわけで無く常時提携先を確保することは困難である	実習先施設等との連携を確保する
3-13	介護福祉分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	外部研修に積極的に参加し研鑽を積んでいる	自発的な研修会等への参加	自発的な参加を促して行きたい
3-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2	外部研修に積極的に参加し研鑽を積んでいる	対象者が限られてしまう	人事異動等により多くの職員に異なる仕事を経験させ多方面からの視点により業務を推進できるよう取組む

評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目		2019年度評価	達成状況	課題点	今後の取組み
4-1	就職率の向上が図られているか	4	就職率は100%	特になし	今後も現在の取組みを継続する
4-2	資格取得率の向上が図られているか	3	国家試験合格者が1名から8名に増えた	留学生が多く、日本語の壁に苦勞している	2020年度から1問1答方式の問題集をショートホームルームで実施
4-3	退学率の低減が図られているか	3	学業成績による退学は無い	本校入学前の日本語学校当時のオーバーワークによりビザの更新手続きが出来ず、退学となる	引き続き入試段階で、オーバーワークのチェックを厳しく行う
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2	数カ所の就職先からの情報を得ている	卒業生全ての情報を得ていない	就職先への調査数を増やす
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2	特別な対応は行われていない	体制が未整備	取組みを検討したい

評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目		2019年度評価	達成状況	課題点	今後の取組み
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	就職への支援体制は整備されている	特になし	引き続き現在の支援体制を維持する
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3	担任教員、生活指導教員を中心に面談等で相談に応じ、細かいケアを行っている	特になし	学生が相談しやすい環境の整備を心がける
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	奨学金制度や短期貸付制度を整えている	特になし	奨学金制度の充実に向けて活動する
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	年1回の健康診断を実施し、問題があれば学生へのフォローを行っている また看護師資格を持つ職員が日常の健康管理を行っている	特になし	引き続き現在の支援体制を維持する
5-5	学生の生活環境への支援は行われているか	3	引っ越しの必要がある学生には不動産会社を紹介しスムーズな引っ越しが出来るよう支援している	特になし	引き続き現在の支援体制を維持する
5-6	卒業生への支援体制はあるか	3	担任への相談については関係部署で対応策を検討し対応している	特になし	引き続き現在の支援体制を維持する
5-7	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	リカレント教育の環境は整備されていない	教職員への負担を考えると、直に実施することは困難	将来の実施に向けて長期的な視野に立って検討する
5-8	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2	高等学校の出前授業等のチャンスがあれば行っている	高等学校との連携不足	高等学校との連携の強化

評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目		2019年度評価	達成状況	課題点	今後の取組み
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	介護福祉士養成施設として認定されており施設、設備は十分整備されている	特になし	施設、設備の点検、整備を怠らず教育環境の整備に努める
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4	実習施設は適正に確保されている	特になし	引き続き現状の体制を維持する
6-3	防災に対する体制は整備されているか	3	新入生、在校生を対象に、4月に防災訓練を実施している 教職員、在校生全員分のヘルメットを整備している 法令に従い点検を行っている	特になし	引き続き現状の体制を維持する

◇基準7 : 学生の受け入れ募集

総合評価

4.0

評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目		2019年度評価	達成状況	課題点	今後の取組み
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	学生募集活動は適正に行われている	日本人の入学者が少ない	県立、私立の高校へのアプローチを積極的に行い、獲得に向けての活動を行う
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	オープンキャンパスにおいて国家試験合格者数や就職率を説明している	特になし	引き続き正確な情報発信を行う
7-3	学生納付金は妥当なものとなっているか	4	他校と比較しても大差なく、社会通念に照らし合わせても妥当だといえる	特になし	経済状況や他校の状況を確認しながら決定していく

◇基準8 : 財務

総合評価

2.8

評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目		2019年度評価	達成状況	課題点	今後の取組み
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	中長期的な安定した財務基盤の整備には至っていない	授業料未納が多い	安定した授業料納入を目指し、納入時期および期間の見直しを行う
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	収入と支出のバランスはとれている	特になし	健全経営を目指し収入と支出のバランスを取りながら運営をおこなう
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	3	決算毎に監事による監査を実施している	特になし	引き続き正確な会計処理を目指す
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	3	事務室に備え付け閲覧可能となっている	特になし	ホームページでの公開を目指す

◇基準9 : 法令等の遵守

総合評価

2.5

評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目		2019年度評価	達成状況	課題点	今後の取組み
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	法令及び設置基準を遵守し適正な運営を心がけている	特になし	引き続き適正な運営を心がけていく
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2	体制の整備に至っていない	体制が未整備	個人情報保護の整備を推進する
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2	2019年度より自己評価を開始した	体制の整備が整っていない	体制を整備し自己評価を推進していく
9-4	自己評価結果を公開しているか	2	未公開	取り組んだばかりであり、評価の公開が出来ていない	学校関係者評価等と共に公開を目指す

◇基準10 : 社会貢献・地域貢献

総合評価

1.7

評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目		2019年度評価	達成状況	課題点	今後の取組み
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	1	特別な取組みは行われていない	体制の整備が整っていない	地域のニーズを汲み取り地域貢献に向けて検討したい
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	茨城国体でのボランティア活動に積極的に参加表明するなど、ボランティア活動の重要性を示している	定期的な実施スケジュールが整っていない	カリキュラムに取り入れることを視野に、検討を進める
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	1	特別な取組みは行われていない	体制の整備が整っていない	地域のニーズを汲み取り実施に向けて検討したい

◇基準11 : 国際交流

総合評価

3.5

評価基準 適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目		2019年度評価	達成状況	課題点	今後の取組み
11-1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3	受入れについては日本語学校等と連携を取り長期戦略を持って受入れを行っている	日本語学校により留学生のレベルが異なる	学生レベルの均一化を目指す
11-2	受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	受入れ、在籍管理においては法的な手続きも含め適切に行われている	入学前の就労時間等の把握が難しい事が多い	受験時の必要書類の見直しを行い就労時間の把握に努める
11-3	留学生の学習・生活指導等について学内の適切な体制が整備されているか	4	正課外に日本語教育を行う等学習面でのフォローを行っている、また、生活指導ではアルバイト先の管理やビザの更新手続き等のフォローを行っている	特になし	留学生個々の違いを把握しながら、適切な指導体制を整備する
11-4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3	国内の就職先からは高評価を得ている	特になし	引き続き留学生に向けた教育を推進する

学校法人 A O I 国際学院      A O I 国際福祉専門学校  
〒300-0874 茨城県土浦市荒川沖西1丁目1-2 1